

素屋根建設工事 Vol.1

・丸太を用いた伝統的な^{す や ね}素屋根建設 2018. 7. 20

唐門の修復工事は、まず、修復中の唐門を風雨から守るため、建物を覆う「素屋根」の建設から始まりました。

京都府では、国宝や重要文化財を修復する際、素屋根の材料には杉の丸太を使用しています。現在では鉄製のパイプを用いて足場を組むことが多くなり、古くから伝わる丸太を用いて骨組みを作る技術が継承されなくなってきました。そこで、伝統的な技術が途絶えないよう、敢えて文化財の修復現場では丸太組みで素屋根を建設しています。



▲ 丸太での骨組み



▲ 丸太を組んでいる様子



▲ 長い丸太はクレーンを用いて建てる



▲ 素屋根に用いる丸太